



中津胃腸病院 理事長
深野 昌宏氏

医師増員、内視鏡の診療棟整備

昨年は4月に新たな診療科として形成外科を開設した。週2〜3日、産業医科大から派遣された医師が、皮膚腫瘍や皮下腫瘍、褥瘡^{じくそう}などに対する処置をしている。形成外科は以前から要望のあった分野で、特に褥瘡への対応は入院患者に提供しやすくなった」と説明する。眼下^{げんか}下垂^{かたさげ}手術も実施。他にも自費診療で、しみのレーザー治療などの美容治療も行っている。

昨春からは消化器内科の体制強化にも取り組んでいる。胃がんや大腸がんなどの早期発見を目的とした内視鏡検査を担当する医師が増え、2人体制になっている。それに伴い、内視鏡件数も増加している。

一方で、診療体制の拡充に伴い、病院施設のスペース確保が課題になっているという。本館横に内視鏡の診療棟を計画中で、2026年度中の完成を目指し



内視鏡検査体制を強化

病院DATA

●診療科目

外科、消化器外科、内科、消化器内科、肛門外科、形成外科
リハビリテーション科、疼痛緩和内科、麻酔科(深野昌宏・滝口哲)
美容(保険適用外の自費診療)／初診料3,300円
しみとりレーザー(10mm未満) 12,000円 他

●診療時間

平日／9:00〜12:00、14:00〜17:30
土曜／9:00〜12:00

●休診日

土曜午後、日曜、祝日 ※急患の方はこの限りではありません



医療法人社団
中津胃腸病院

中津市大字永添510番地
TEL0979-24-1632
<https://n-icho.or.jp>



ている。この建物には形成外科も移る予定で、待機室や回復用ベッド、トイレの増設など、患者が利用しやすい環境づくりを意識した設計にしている。

地域包括ケアの推進に取り組んでおり、24年春には医師と看護師が連携する訪問看護ステーション「いちよう並木」を開設。同年秋には中津市耶馬溪町にサテライト事業所「黄葉」、昨年9月には、山国川を挟んだ福岡県豊前市にサテライト事業所「あんず」を設けた。

「患者の約3割が県境を越えて来院し

ていることや、職員も周辺自治体から通勤している状況があり、地理的環境や地域の医療状況も踏まえて決めた」という。

「地域のためにできること」を目指し、理事長としては施設整備や人材育成など、前に進めるべきことが多い。自身は緩和ケアを中心に携わっているが、「一般外来も担当しているため、時間の確保がなかなか難しい面もある。今年は緩和ケアにより力を入れ、病院としての取り組みを充実させたい」と述べた。